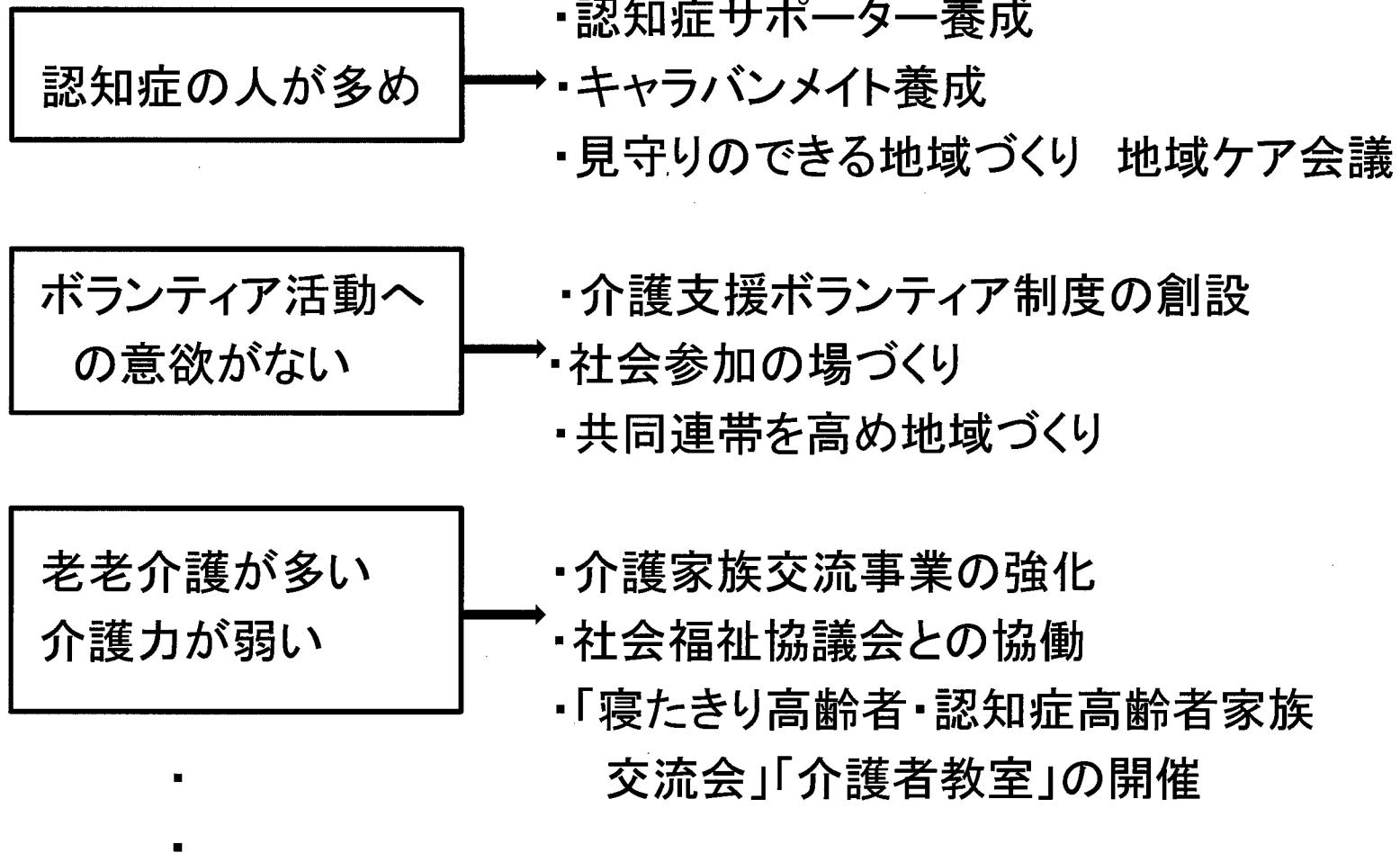


	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い頃から体力測定・筋力測定を実施(若い時からの意識付け、老たとき評価しやすい)</li> <li>・骨粗しょう症健診後のフォローの必要</li> <li>・畑仕事による骨の変形を防ぐ方法の情報提供、すでに症状がある人は、膝などに無理のかからない生活の情報を提供する</li> <li>・運動教室など行政で実施した活動を自主グループ化させグループの紹介を市民に行う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出は週1回未満が多い(閉じこもり)</li> <li>・買い物や友人宅に行くことが少なく、老人クラブの参加が少ない</li> <li>・外に出ない</li> <li>・移動手段が少ない(人の車に乗せてもらうしかないなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドバスの利用の周知や充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)路線の検討(市外等にも路線を増やす、利便性のある路線に変える)</li> <li>2)介助が必要な人も利用できるように(自宅前まで送り迎えする等)</li> <li>3)老人クラブやゲートボールに参加するためのデマンドバスの利用</li> <li>4)近所に300円では高い気がする。150円など半額ではどうか</li> </ol> </li> <li>・65歳になったら老人クラブに入ってもらえるようなキャンペーンをする</li> <li>・社会福祉協議会などに働きかけ老人会などを活発にする</li> <li>・はつらつシルバー事業を充実させる(介護予防サポートリーダー活用)</li> <li>・買い物ができる環境整備(高齢者の見守りと商店街の活性化がセットできればよい)</li> <li>・移動販売のシステムづくり(灯油の配達と一緒に注文したものが届く、弁当を配達途中で届けるなど)</li> <li>・商店街に対するキャラバンメイト研修、配達してくれる店舗に「高齢者にやさしい店」の認証、高齢者へ紹介できるシステムの検討</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・ etc.</li> </ul>

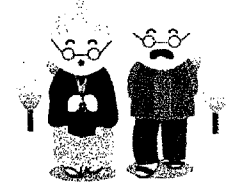
## 23年度地域支援事業への反映



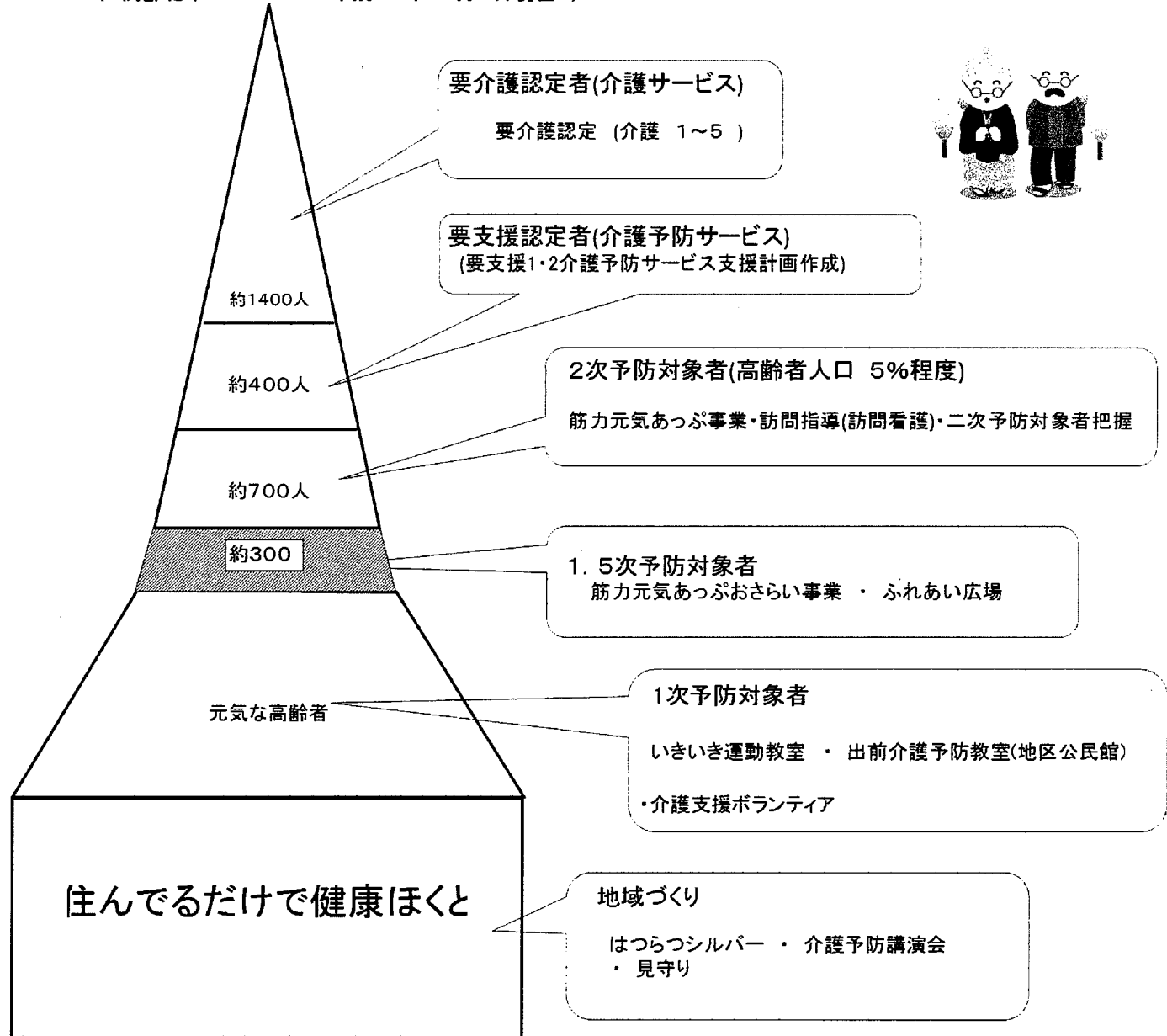
ニーズ調査で実態を把握することにより今までの事業の評価と今後の方向性が見える

# 北杜市地域包括支援センター・対象者別業務一覧

～ 北杜市の高齢者人口 65歳以上14,700人 /北杜市の総人口約49,000人 ～  
 ( 高齢化率 30.14% 平成22年12月1日現在 )



- ☆キャラバン・メイト
- ☆認知症サポーター
- ☆認知症予防サポーター
- ☆介護予防サポートリーダー
- ◎家族介護継続支援事業
- ◎成年後見・権利擁護事業
- ◎包括的・継続的ケアマネジメント事業
- ◎介護給付等費用適正化事業
- ◎総合相談



- 第5期介護保険事業計画策定の視点

北杜市

- 地域包括ケアの推進
- 介護予防の推進
- サービスの充実
- 介護保険、保険外サービス提供者との連携、協力体制の構築
- 地域・民間活力の活用と協働
- 介護保険事業の安定運営

# 介護保険事業計画の策定

- 地域包括ケアの実現を目指すため、第5期計画（平成24～26年度）では次の取組を推進。
  - ・ 日常生活圏域ニーズ調査を実施し、地域の課題・ニーズを的確に把握
  - ・ 計画の内容として、認知症支援策、在宅医療、住まいの整備、生活支援を位置付け

## 日常生活圏域ニーズ調査

- ・ どの圏域に
- ・ どのようなニーズをもった高齢者が
- ・ どの程度生活しているのか

地域の課題や  
必要となるサービスを  
把握・分析

### 調査項目（例）

- 身体機能・日常生活機能（ADL・IADL）
- 住まいの状況
- 認知症状
- 疾病状況

## 介護保険事業計画

### これまでの主な記載事項

- 日常生活圏域の設定
- 介護サービスの種類ごとの見込み
- 施設の必要利用定員
- 地域支援事業（市町村）
- 介護人材の確保策（都道府県）など



### 地域の実情を踏まえて記載する新たな内容

- 認知症支援策の充実
- 在宅医療の推進
- 高齢者に相応しい住まいの計画的な整備
- 見守りや配食などの多様な生活支援サービス

# 地域包括ケアの実現に向けて

地域包括ケア一個々の高齢者の状況やその変化に対応して、介護保険サービスを中核としつつも、医療をはじめとした様々な支援、さらにはボランティア等の住民活動などのインフォーマルな活動も含めて、地域の様々な資源(自助・互助・共助・公助)を統合し、住民の生活全般にわたり24時間365日の支援を行うケア

地域包括ケアを支える中核拠点

⇒地域包括支援センター

## 地域の現状

住民ニーズに合わせ、介護保険、医療保険、見守りなどの生活支援、成年後見等様々な支援が切れ目なく提供されなければならないが、有機的な連携が見られない。

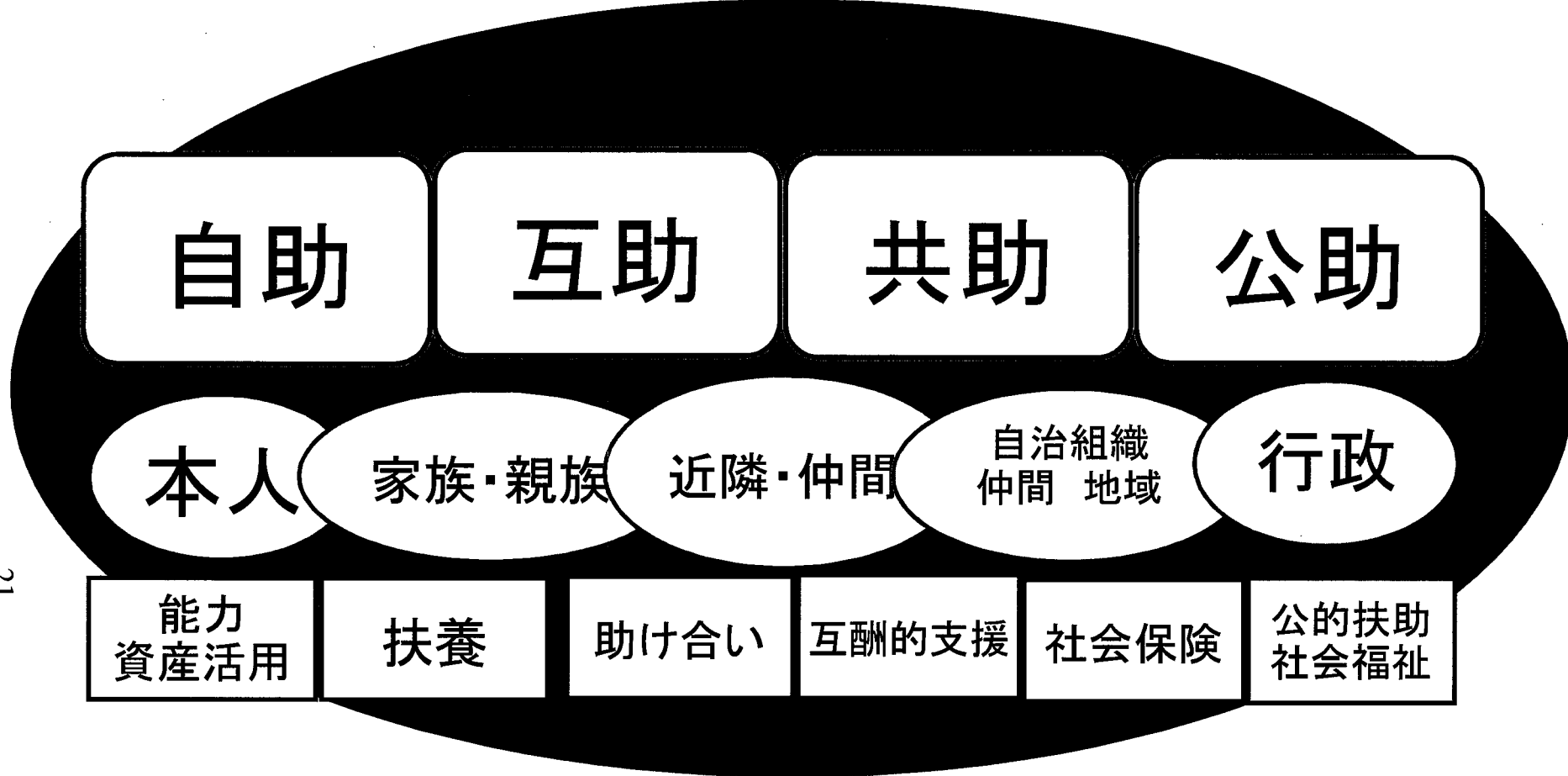


★地域において包括的・継続的につないでいくためには自助・互助・共助・公助の役割分担の明確化と再確認が必要。

★個別ケース支援を通じ、医療や介護等多制度、多職種の連携を高める地域ケア会議等の機能強化が必要。

★地域住民や地域団体との連携を通じた地域における互助によるサービス創造の検討・提言が必要。

(日本社会福祉士会地域包括ケアに向けた事業展開より)



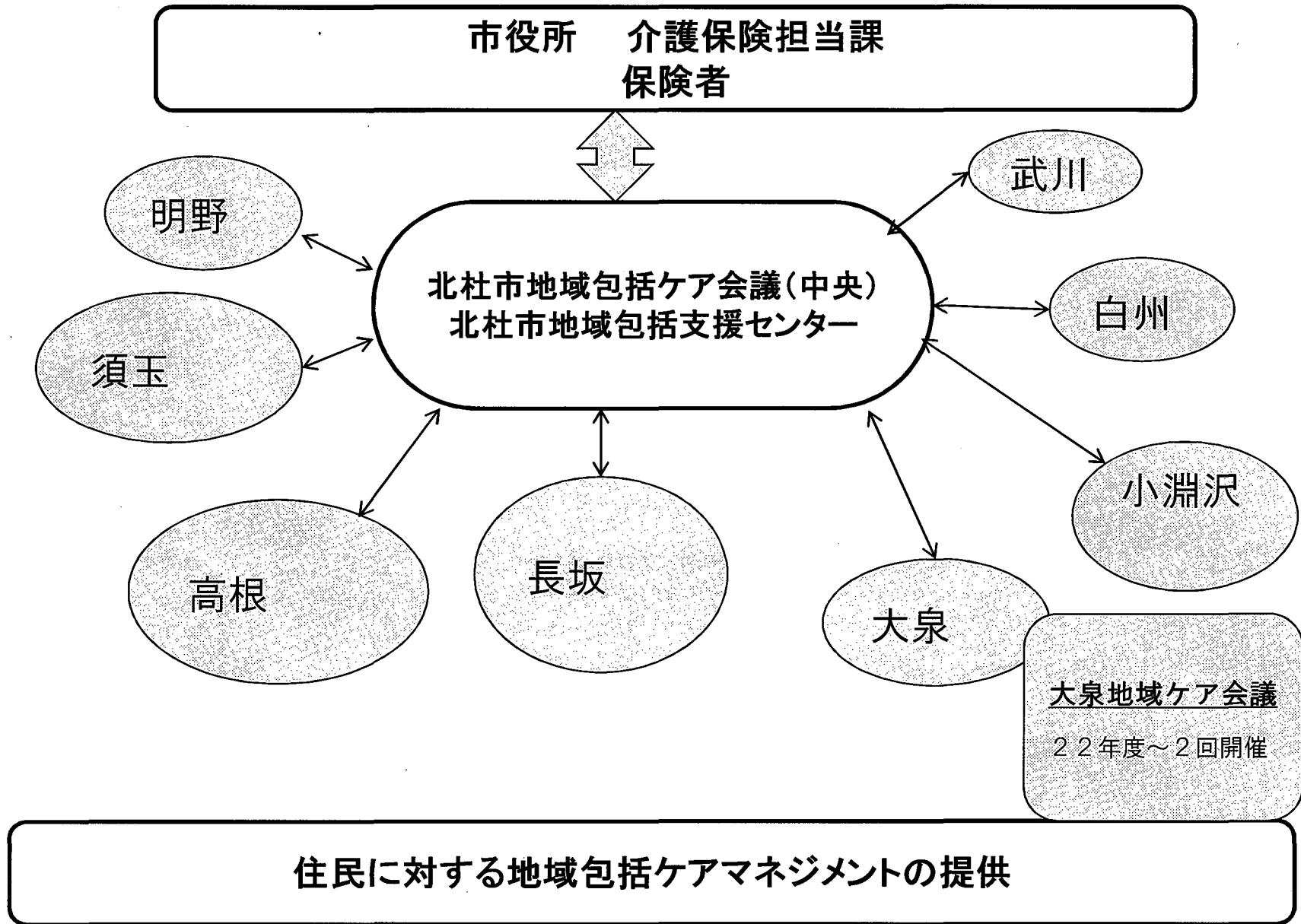
- \* 自助・・・自助努力
- \* 互助・・・家族・友人・近隣人・ボランティア等
- \* 共助・・・地域の助け合い体制など
- \* 公助・・・行政支援など



## 北杜市における地域包括ケアの実現に向けて

- \* 地域の実態把握－8つの地域の特徴
- \* 日常生活圏域ニーズ調査と第5期介護保険事業計画実態調査
- \* 地域ケア会議の開催－8つの地域ケア会議
- \* 各地域で地域ケア会議を開催（地区担当を中心に）
  - ・事例を通して
  - ・ニーズ調査から
  - ・地域課題を見つける
  - ・役割分担の確認
  - ・必要なサービス等の検討
- \* 生活支援サービスの確保

# 北杜市地域包括ケア会議



## 地域包括ケア体制整備に向けて（現在）

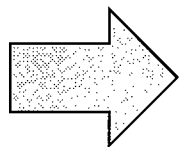
- ・市役所総合支所……8町の合併前旧庁舎、地域市民課  
住民にはなじみ深い
- ・民生委員会……8町にそれぞれ民生委員協議会がある  
毎月の定例会に地区担当が出席  
総合支所地域市民課で事務局
- ・医療……各々ケースごとで相談、往診医との連携
- ・介護保険事業所……2ヶ月に1回会議開催・合同研修会
- ・北杜警察署……生活安全課、地域課  
(虐待立ち入り調査時の援助要請、駐在所との関わり)
- ・その他……介護保険外事業所との意見交換(H21年度～)  
民間ヘルパー、配食サービス、便利屋など

- ・調整会議……市民部、福祉部によるサービス調整会議  
事例検討、情報交換

## 地域包括支援センタースタート～

→ 包括と各々(社会資源)が繋がる

今後



庁内の協働 → 手始めに全職員対象に認知症  
サポーター研修実施(4回)

住民との協働 → 地域づくり・地域の活性化

## ☆大泉地区：認知症で独居の方の徘徊事例

夕方、外を出歩いて自宅に戻っていないのを  
民生委員さんが発見

困った民生委員さんは市役所に連絡(休日でした)

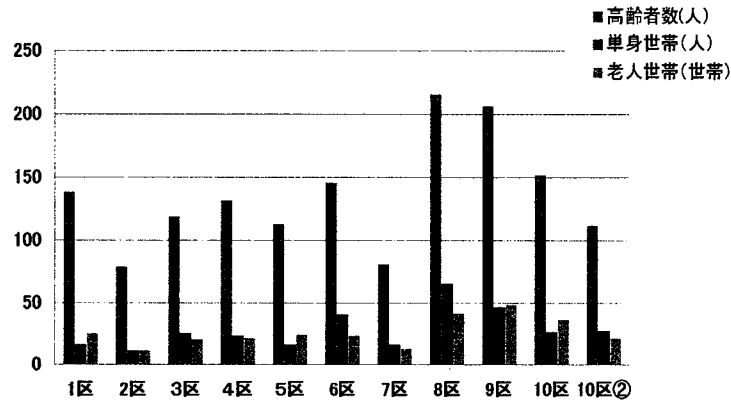
民生委員会の時、「認知症が増えた」

「独居の人も多い」との声

地区の規模、民生委員さんのまとまりも良い

⇒**大泉地区ケア会議開催を提案**

大泉町の高齢者の様子



民生委員さんの声

- ・地域の事情などを把握するために訪問活動を積極的に行っているの自分たちの活動を知って欲しい
- ・地域の中にはいろいろな人がいる。困ったときにはどこに相談すればいいのか迷う。相談窓口を知りたい
- ・介護保険サービスを利用している人は、どんなサービスを利用しているのか把握しておくとかあった時には連絡が取れる。  
例えば…一人暮らし、認知症の方、高齢者世帯
- ・最近、家族の形も変わってきている。高齢者だけ残して、子供は県外にいる。独身の息子が高齢の親と生活している。どうしても、支援が必要になる場合が多い。家族の連絡先も分からないこともある

駐在さんの声

- ・モノを盗られた、怪しい訪問販売が来た、と通報してくる高齢者がいる。一人暮らしの場合は誰かに声をかけておくこともできないでそのままになっている。声かけできる窓口や人がいればいい。民生委員さんと知り合いになれば、伝えやすいようになる。
- ・どこに民生委員さんがいるのか知っておけばお互いに相談しやすくなる。
- ・徘徊している人の保護のこともあるので、地域の方にも協力していただくことがある。

ケアマネージャーさんの声

- ・必要時には、情報収集や見守りをお願いしている。民生委員さんの見守りや協力はとてもありがたい。
- ・独居の在宅生活などの場合、近所との繋がりはとても重要だが、最近は近所と繋がりが少ない方もいる。
- ・地域の中で介護保険サービスを利用している方はケアマネが付いている。いろいろな事業所があり、ケアマネは一人ではない。

社協さんの声

- ・はつらつシルバー事業や給食事業などで民生委員さんには協力していただいている。
- ・社協としても、高齢者と民生委員さんと関わる窓口があるのでは。

地域包括支援センターの声

- ・認知症の相談が多くなっている。独居の方などは、受けた相談をどこにつなげていけばスムーズに支援できるのだろうか。民生委員さんや近所など地域の方に協力していただく部分も出てくる。
- ・独居で子供が県外に住んでいる人も多い。緊急時の対応など課題はある。
- ・定年後に越してきた移住者の方も増えている。地域との繋がりが少ないので、情報が入りにくい状況もある。

平成21年度介護保険新規申請理由(人数)

	北社市	大泉町
認知症	125	12
脳血管疾患	55	6
転倒、骨折	53	3
関節疾患	13	1
生活不活発病	44	0
悪性新生物	42	0
精神疾患	9	0
その他	116	15
合計	457	37

元気で過ごせる 大泉バージョン  
 ~5年後・10年後も元気で在宅~

見守りします

大泉駐在所も市役所や民生委員さんと一緒に見守ります

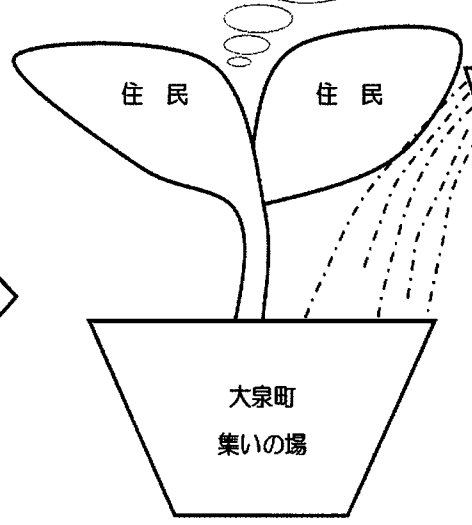


后方支援をします

支所は地域包括支援センターとのつなぎ役ができるように...  
 ・困りごとの相談に対応できるように窓口を明確にしよう  
 ・高齢者が安心して地域で暮らせる体制作りをしていく  
 ・地区担当を明確にしておこう

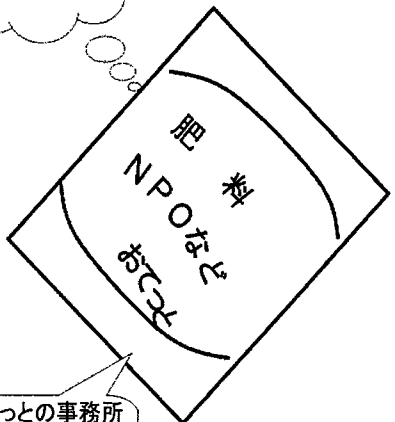
・民生委員として地域の相談役になろう  
 ・民生委員の役割が見えにくい...  
 ・民生委員をすることで色々な住民の方と関わられた

元気な花を咲かせたい😊



お花を咲かせるために頑張っています  
 ・社協は老人会の事務局や福祉運動会などのイベントを開催して地域づくり  
 ・要介護状態の方のケアならケアマネにおまかせ

成長のお手伝いをします



おてつとの事務所で集いの場が作れたらいいな...

# 介護予防・日常生活支援総合事業について

利用者の状態像や意向に応じて介護予防、生活支援（配食、見守り）、権利擁護、社会参加も含めて市町村が主体となって総合的で多様なサービスを提供

## 対象者

1. 要支援と非該当を行き来するような高齢者
2. 介護保険利用に結びつかない高齢者
3. 自立、社会参加意欲の高い高齢者



# 介護予防・日常生活支援総合事業の創設

## ・想定される利用者の現状の把握

平成23年4月 「要支援1」サービス利用状況

「要支援1」	計
人数	111
1人暮らし	30
独居割合	27.0%

## 要支援1利用者のサービス利用状況

### 【利用サービス 内訳】 ※複数回答

	計	利用割合
利用なし	17	15.3%
訪問介護	31	27.9%
訪問看護	7	6.3%
訪問リハ	1	0.9%
デイサービス	55	49.5%
デイケア	7	6.3%
認知通所	0	0.0%
ショート	1	0.9%
レンタル	18	16.2%
小居宅	0	0.0%
住宅改修	2	1.8%
配食サービス	1	0.9%
おてつと	1	0.9%
計	141	

### 【サービス利用目的 内訳】 ※複数回答

	計	利用割合
下肢筋力の向上	32	28.8%
認知予防	12	10.8%
うつ予防	3	2.7%
交流目的	32	28.8%
介護者負担軽減	4	3.6%
家事支援	19	17.1%
入浴目的	28	25.2%
O2管理	3	2.7%
計	133	

## 新サービス整備・地域包括ケア実現のために

- 地域包括支援センターの強化
  - 高齢者の生活を支える多様なサービスの整備
- ③ 地域支え合い体制づくり事業の活用

- ニーズ調査結果の活用がどこまでできるか
- 地域ケア会議の継続実施